



平成 28 年 8 月 4 日

各 位

会社名 日本海洋掘削株式会社
 代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
 (コード番号：1606 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR 室長 風間 直毅
 (TEL. 03-5847-5862)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,930	△2,539	△2,842	△2,931	△162.83
今回修正予想 (B)	10,794	△3,088	△3,833	△4,271	△237.31
増減額 (B-A)	△2,135	△548	△990	△1,340	
増減率 (%)	△16.5	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	24,835	3,460	3,213	2,224	123.58

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,480	△6,149	△6,763	△6,945	△385.86
今回修正予想 (B)	20,378	△8,195	△9,256	△9,830	△546.13
増減額 (B-A)	△5,102	△2,046	△2,492	△2,884	
増減率 (%)	△20.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	36,227	△2,550	△3,219	△7,017	△389.89

修正の理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回発表予想(平成 28 年 5 月 11 日)を下回る見通しとなりました。

第 2 四半期連結累計期間の売上高は、長引く海洋掘削市況の低迷から厳しい事業環境が継続しており、一部のリグについて、受注活動中の掘削契約の工事開始時期が遅れること、及び「ちきゅう」科学

掘削受託業務収入の一部が第3四半期以降に計上される見通しとなったことなどから、売上高は前回発表予想比 2,135 百万円減の 10,794 百万円となる見込みです。

営業損益については、減価償却費等の固定費負担があるものの、人件費、修繕費、物品費等の節減に取り組んでおりますため、前回予想比 548 百万円減の 3,088 百万円の損失となる見込みとなりました。

経常損益につきましては、営業外損益において為替差損を見込みましたことから前回発表予想比 990 百万円減の 3,833 百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては前回発表予想比 1,340 百万円減の 4,271 百万円の損失となる見込みです。

平成 29 年3月期の通期連結業績予想につきましても、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想(平成 28 年5月 11 日)を下回る見通しとなりました。

売上高は、新リグ建造に係わるプロジェクト・マネジメント業務の終了が来期以降になると見込んだこと、一部のリグについて、受注活動中の掘削契約の工事開始時期が遅れることを見込んだこと、及び契約済みの掘削工事につきましても計画の縮小を見込んだことなどから、前回発表予想比 5,102 百万円減の 20,378 百万円となる見込みです。

営業損益については、更なる経費節減を進めることとしておりますので、前回予想比 2,046 百万円減の 8,195 百万円の損失となる見込みとなりました。

以下、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益とも前回発表予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上